

れんめい、和歌山

— 看護と政治のかけ橋 —



第 39 号

発行所

和歌山県看護連盟

和歌山市西浜1014-27

看護研修センター内

電話 073-446-5189

FAX 073-446-5205

発行責任者

谷 真子

印刷所 野田印刷株式会社





ご あ い さ つ



和歌山県看護連盟 会長 谷 眞子

台風 12 号による記録的な豪雨により紀伊半島に甚大な被害が発生しました。亡くなられました方々のご冥福をお祈りし、被災された方々にはお見舞いを申し上げ、一日も早く平常に復帰されますよう心からお祈り申

し上げます。

さて、7月2日に通常総会が無事終わりました。役員のメンバーも一部交代しましたが、平成23年度和歌山県看護連盟通常総会でご承認いただきました活動計

画を県役員はじめ関する委員を中心に組織の充実を図りながら積極的にすすめてまいります。

これからの3年間を見据えた活動計画を推し進めるには、支部活動の自律と活性化そして自覚に基づき活動する会員をいかに増やすかがキーになります。看護職能団体として看護協会のめざす政策を実現する政治活動を担うという看護連盟の本来の目的は不動のものであると考えます。国民のため、看護のために、多くの方々のご支援とご協力を得ながら、会員一致団結して政治課題に積極的に取り組んでいきましょう。



日本看護連盟 会長 清水 嘉与子

福島原発の事故の影響で、東京は猛暑の中で節電が強いられています。駅やデパートが薄暗くなった時は、気分まで落ち込みそうになりましたが、これは直ぐに慣れるもので、今では如何に私たちが野放図に電気を浪費してきたことかと反省させられています。

さて、看護協会総会で会長が交代し、翌週行われた看護連盟総会では坂本新協会長が連盟との協力関係の重要性を述べられるなど、協会・連盟関係は新しい時代

に入りました。

東日本大震災から6ヶ月以上すぎても、被害の全容もつかめず、原発事故に至っては終息の見通しも立っていません。こんな中での菅総理の引退を巡って国会が右往左往しているのは全く困ったものですが、看護連盟としては今後の政治情勢に目を配りつつ、国政の場へ看護の代表を送るという活動を引き続き進めなければなりません。すでにこの暑さの中で各県ごとに支部別会議が精力的に開催されておりますが、和歌山県の会員の皆様にも一層の奮起をお願い申し上げる次第でございます。

会員の皆様へ



日本看護連盟 幹事長 石田 昌宏

和歌山県看護連盟会員の皆様、暑さと節電の夏が終わり、すこしほっとしてお過ごしでしょうか。台風12号の傷跡が深く残り、冴えない気持ちですが、秋晴れの空のもと元気を取り戻せればと祈っています。

看護連盟はいよいよ2年後の参議院議員選挙に向けて歩みを始めました。まずは都道府県支部別会議とリーダー研修を全都道府県で行い、これからの活動のやり方等について周知を図っているところです。たかがい恵美子参議院議員の選挙では快勝できましたが、次回の状況は定数削減等により厳しくなっており、緻密で丁寧な活動が不可欠です。政治へのかかわりが大切なことが看護職一人一人の心に伝わるよう「熱伝導」をテーマ

に、頑張っていきましょう。国会のほうは、またしても総理大臣が交代し、安定感のないまま時間だけが進んでいます。被災地への復旧が不十分なうえ、経済や社会保障への対応について議論が遅れています。しかしその中でも、あべ俊子衆議院議員、たかがい恵美子参議院議員は看護職としての経験や知恵を生かし、いぶし銀のような活躍をしています。くわしくはそれぞれのホームページをご覧ください。丁寧な国会報告が掲載されています。併せて日本看護連盟のホームページも新しくなりました。コンセプトを変え「情報発信」型とし、看護政策関連の取材記事およびメッセージ動画が中心となっています。現場に役立つ情報ですのでぜひ日々の業務にご活用ください。

今後とも、看護の発展のために皆様のご活躍をお願いします。

国会議員の活動報告



衆議院議員 あべ 俊子



看護問題小委員会

東日本大震災で被災された皆様、犠牲になられた皆様に、心からのお見舞いとお悔やみを申し上げます。まだまだ厳しい生活を余儀なくされている方が大勢いらっしゃいます。一日も早く安定した暮らしを安心して送っていただけるよう、国会では与野党間の協力とともにあらゆる力を集結し、震災対策関連の法案の成立を進めております。この連盟だよりが皆様のお手元に届く頃には、復興へ向けての具体的な施策が着実に進められていることを心から願うばかりです。



厚労委員会質疑

自民党では「復興への道標」として、今回の大地震・津波・原発事故による被害に関する対策を逐次取りまとめ、提言してきました。またこのような震災復興への対策と並行して、震災により頓挫していた多くの重要課題についての議論も順次再開し、看護に関する諸課題をはじめとしたさまざまな検討に取り組む毎日です。

日本は今、歴史的にも大変な国難に向き合っています。

どうかみなで力を合わせ、この国難を乗り越えていけるよう共に頑張ってください！がんばろう日本、必ず復興します！

参議院議員 たかがい恵美子

こんにちは、たかがい恵美子です。

各地から豊穡の話題が届けられる季節となりました。東日本大震災の発生した 311 はまだ寒さの凍みる頃でしたが、あれから早や 6 ヶ月が過ぎました。長く続く国難の時に、根気強く第一線に立って国民の命を支えてくださる皆様に、改めて感謝を申し上げます。

この間、私は新たに自民党災害対策本部事務局の医療支援班長として、医薬品・医用材料の調達や職員派遣などの直接支援、そして被災者の生活再建に不可欠な制度・財政面での公的枠組みづくりに携わらせていただいております。また参議院では予算委員会、東日本大震災復興特別委員会、厚生労働委員会、行政監視委員会などで質疑の機会をいただきました。

看護職のプロ目線で幅広くそして厳しく現状の課題を指摘し、提言した政策は必ず実現されるようにと、常に前向きな姿勢で審議に臨んでおります。

こうした議員活動の原動力は、故郷を愛し尊い命を守りぬこうと努力する仲間たちの情熱です。苦境に直面している時だからこそ、ともに生きる私たち一人一人が知恵を出し次の時代を切り拓いていかなければならないのだと強く思うのです。

活動する看護職の一人として、これからもみなさまとともに、真摯な取り組みを続けて参る所存でございますので、引き続き、よろしくご指導くださいますようお願いいたします。



和歌山県看護連盟総会



平成 23 年度 和歌山県看護連盟通常総会報告

平成 23 年度和歌山県看護連盟通常総会が 7 月 2 日（土）勤労福祉会館 プラザホープで開催。出席は一般会員 118 名、役員・協力員 37 名、計 155 名で、1,089 名が委任状を提出された。

開会式には、仁坂吉伸和歌山県知事はじめ、石田真敏衆議院議員、世耕弘成・高階恵美子参議院議員、新島雄和歌山県議会議長、山田正彦和歌山県議会議員、松見弘和歌山市長代理副市長にごあいさつをいただいた。二階俊博衆議院議員、鶴保庸介参議院議員の秘書に代理として、また、鈴木敏彦和歌山県福祉保健部長、岡本圭剛医務課長、木村佐多子和歌山県看護協会長等にご臨席を賜り盛大に開催することができた。

引き続き参議院議員高階恵美子先生を講師に特別講演を開催した。

その後の総会では、昨年度の活動報告の後に、提出された第一号議案から第七号議案について審議された。3 年後を見据え、組織の強化充実を重点目標とし、それに向けた活動計画を提案した。いずれも賛成多数で承認され、今年の連盟活動がスタートすることになった。第八号議案役員改選について、推薦委員会から推薦された候補者が承認され新たに 4 名の方が役員として加わった。よって提案された審議事項はすべて承認のうえ閉会した。



特別講演 「看護と政治～看護問題を国政に」 講師 参議院議員 高階 恵美子 先生

高階議員は最初に自分を国会に送りだしてくれたことへの感謝の言葉を述べられた。

3 月 11 日の東日本大震災での経験を中心に講演された。被災地活動して、当たり前暮らしは、社会の人々の様々な働きで成り立っていることを再認識したことや、テレビ等マスコミは「48 時間、72 時間のいのちをどう守るか」ということだったが、現場では「目の前のいのちをどうやって守るか」という問題に直面しており、体をはって患者さんを守っている看護職の活躍ぶりに感銘し自分自身が

「看護の仲間であること」や「自由民主党の一員であること」を誇りに思い、看護の視点で政治家として今起こっている問題やこれから起こる問題を考え「ひとり一人の笑顔やふるさとを取り戻すために法律やお金をつくる」、「看護の現場と政治を繋ぐ窓口となり頑張りたい。皆と力を合わせて、結果を出していきたい。」と力強く話された。高階先生は以上のことを時には涙ぐみながら話される場面もあった。





平成 23 年度 和歌山県看護連盟県役員 一覧表

会 長	谷 眞 子	副会長	木 村 和 子	副会長	仁 木 満
幹事長	前 田 香 代	幹 事	葛 葉 まさゑ	幹 事	田 中 祐 子
幹 事	原 紀 子	幹 事	小田垣 弥智世	幹 事	岩 橋 杉 子
幹 事	南 美 枝 子	幹 事	片 山 清 子	幹 事	久 保 節 子
幹 事	大 江 美 佐 子	監 事	大 字 京 子	監 事	松 浦 三 代

新役員あいさつ



副会長
木村 和子

永い間看護の現場で働いて来ました。この度御縁があり、今激動の年に看護連盟の副会長という大役を引き受けることになりました。「日本看護協会は日本看護連盟と共に看護職ひいては国民のために何が出来るか、という目的を共有し協働して行きます」という日本看護協会・新会長のメッセージに、激動の年から変動の年になるのではと思う私の気持ちを再び、動かしました。やはり看護は現場です。現場で働く看護職の為これからの時代を背負っていく若い人達の為に、やりがいのある生き生きと、一生専門職として働き続けられる、労働環境が出来るように頑張っていきたいと思っています。



副会長
仁木 満

このたび、副会長に就任いたしました仁木満と申します。
初めての看護連盟の役職であり、まだまだ何も分かりませんが「ベッドサイドから政治を変える」のスローガンのもと現場の声を政策に生かせるようにお役に立てたらと思っていますので、よろしくお願い申し上げます。



幹事長
前田 香代

幹事長職という大役をいただき身の引き締まる思いです。
平成 23 年度の目標「組織活動を充実させる」を支部中心に活動を強化等、会員が政治に関心を持ち活動出来るよう微力ながら、尽力してまいります。



幹 事
田中 祐子

この度、和歌山県看護連盟の幹事を仰せつかりました。～ベッドサイドから政治を変える～をスローガンに、患者さんが困っていることを改善できるよう、また患者さんを支える看護職が安心して働けるように、たくさんの看護職に連盟活動の大切さを認識してもらえよう他の先輩方と力を合わせて頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。



幹 事
小田垣弥智世

県民の皆さまに質の高い看護を提供するためには、看護職の確保・定着と働き続けられる環境づくりが重要です。実現に向けて、「組織活動を充実させる」の目標のもと力を尽くしたいと思います。皆さまのご協力をお願いします。



「続 基礎研修指導者養成研修」に参加して

橋本市民病院 渋谷 加奈子

8月27日、基礎研修が終了した人を対象に、看護に関する政治や政策に関する理解を更に深める為に、研修が行われました。60%の連盟会員が基礎研修を終え、今回の研修は任意でありましたが、47都道府県の中で和歌山県が先導を切り取り組む事になった事は素晴らしい事だと、日本看護連盟常任幹事の竹澤良子先生よりお言葉を頂きました。講演内容は、主に看護連盟の政治活動、衆議院あべ俊子議員や参議院たかがい恵美子議員の看護職議員たちの活動、国会で取り上げられる看護問題と制度化されるまでの道筋など幅広く話されました。

ポイントは、連盟会員に政治活動と選挙活動の違いを理解して頂き、一人一人が自らやらなければいけない事を積極的に行っていく必要があるという事です。高齢化、核家族化、高度医療、看取り、震災復興など社会の問題は数限りなくありますが、どれも身近にある問題です。看護職の私達が奮闘し人々の生活をお守りする事は責務です。命を預かり、安全で安心出来る看護を提供する事の「大変さ」を社会に認知してもらう為に、政治を理解し私達の思いを国政に届けていく事が重要なだと学びました。

グループワークでは、「自施設で連盟研修をどのよ

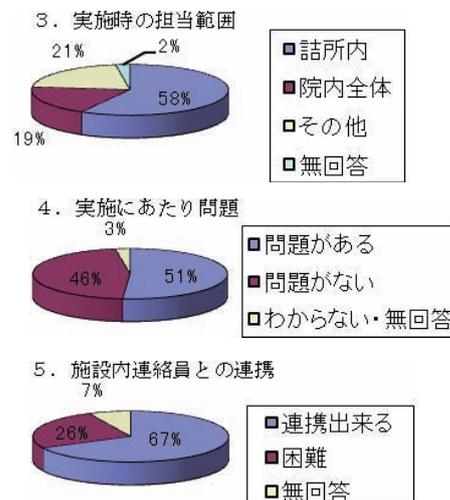
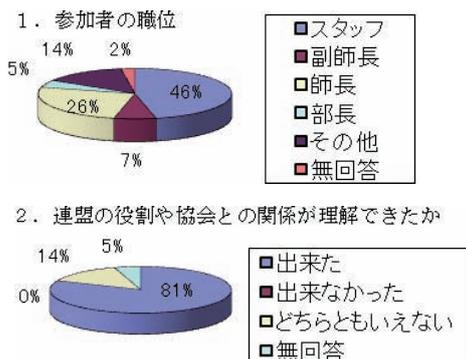
うに進めていくか」というテーマに沿って話し合いを行いました。現場の問題が発生した時は、どこへ・誰に相談すれば良いのか、政治や選挙活動は難しい・分かりにくい、連盟研修を受けても報告する場所や時間がなかった、連盟会費の内容について知らなかった、などフレッシュで貴重な意見が沢山出ました。それらは、自施設で報告会を持ち仲間と共有する事で、解決し得る内容ではないかと思えます。

H21年7月より卒後臨床研修が制度化されました。つまり、看護師でいる限り研修に参加する義務があるという事です。政治で看護問題が解決される事は、看護に対する理解を深めてもらえるという事です。竹澤先生は、法律は自ら勝ち取ってこそ意味があり、勝ち取ったものは自ら育む事が出来る、と述べられました。連盟研修を受ける事で、問題を自分の事として考えられます。他施設の看護師の意見を聴く場があり良い交流の場となります。竹澤先生は、生きていく上で、仕事を続ける中で連盟活動で鍛えて行ってください、と締め括られました。

看護の現場が活気づき、私達が心身共に元気で働いていける事を目標に、これからも取り組んでいきたいと思えます。



続 基礎研修指導者養成研修 【アンケート結果】





自由民主党和歌山県議会議員の訪問を受けて

7月13日(水)看護界の問題について話を聞きたいと自由民主党和歌山県議団から中村裕一議員、山下直也議員、尾崎太郎議員、平木哲朗議員、森礼子議員の5名の訪問を受け、和歌山県看護協会会長、和歌山県看護連盟会長・幹事長で対応しました。看護職員の不足対策として、①看護職の養成力の強化について御坊に看護学校の設立を予定している件 ②離職防止として、看護協会では、ワークライフバランスの推進に取り組んでいる③潜在看護師の掘り起こしが話題になりました。また、看護協会として災害支援ナースの養成や登録を行っていることや災害時の対応として県と

の覚書を交わしておくことの必要性や災害に備えて地方で眠っている看護師を把握し、その時に備えることも必要ではないか等が話題になりました。この話し合いから自由民主党和歌山県連として県の政策の施策に活用されることを期待したいところです。

(文責 谷)



被災地福島県看護連盟からのお便り

謹啓 立秋とは申しながら、連日猛暑が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

3月11日の東日本大震災の被災につきましては、早々と丁寧なお見舞いをいただきまして、まことにありがとうございました。全国の皆さま心温まる沢山のご支援を賜りましたことを改めて深く感謝申し上げます。また、全国各地に避難された方々に温かいサポートをいただき、県民の一人としてありがたく感謝申し上げます。さて、早くも震災から5ヶ月が経ちました。あまりにも大きな爪痕を残したままで、現在も様々な問題が併発して深刻な状況におかれています。今なお原発の収束が先行き不透明であり、風評被害も含め県民の不安は解消されず、困っております。しかし、徐々に連盟会員の生活も落ち着きを取り戻しつつあります。皆さまのご厚情に応えるためにも、復興に向けて頑張っております。必ずいつの日か福島県は元の姿に戻り、おいしい海の幸、山の幸と美しい観光地として多くの皆さまの心を満たしてくれることを期待して、前進してまいりたいと思っておりますので今後ともよろしくご支援お願い申し上げます。まずは略儀ながら書中をもちまして、お礼かたがたご報告申し上げます。

平成 23 年 8 月



福島県看護連盟 会長 笹原 和子

役員 一同



連盟からのお知らせ



男性看護師研修

開催日：平成 23 年 10 月 1 日 (土)
 会場：プラザホープ
 テーマ：「男性看護師として
 キャリアアップについて」
 ねらい：男性看護師として
 意欲的に働き続けられるために
 講師：愛媛県看護連盟会長
 植岡 道玄 先生



看護管理者・教育者研修

開催日：平成 23 年 10 月 15 日 (土)
 会場：プラザホープ
 テーマ：「看護管理と政策
 ～患者・看護者を守るための政策～」
 ねらい：管理者として政策に参画することの
 重要性について認識できる
 講師：産業医科大学病院副院長・看護部長
 小竹 友子 先生

平成 23 年度 連盟会員 募集中!

年会費

皆様の入会をお待ちしています!

日本看護連盟会費	5,000 円
和歌山県看護連盟会費	3,000 円
計	8,000 円



平成 23 年度総会が特別講演にたかがい恵美子先生をお迎えして盛大に開催することができました。
 また、この度機関誌編集中には台風 12 号による集中豪雨で紀伊半島の各地で大変な災害が起き、尊い命も奪われました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

広報委員 田中 小田垣 宮井 井堰 原



〜東洋羽毛のサービス〜

- リフォーム …… 古くなったお布団を、新品同様にリフレッシュします。羽毛は、きれいに洗浄して、新しい生地にも詰め替えます。また、使わなくなったダブルを、シングル4枚などに、作り替える事も出来ます。
- 補修・お直し …… 穴が空いてしまったり、破れてしまった時は、補修します。
- クリーニング …… 大きなお布団を、クリーニング店まで持って行く必要はありません。宅急便で、ご自宅まで取りに伺います。
- 特別注文 …… 製造メーカーなので、ご希望のサイズの、お布団を作れます

※お布団の事なら、何でもご相談下さい。

東洋羽毛工業(株)大阪営業所



ホームページアドレス
http://www.toyoumo.co.jp

和歌山店 〒640-8329 和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F フリーダイヤル 0120-32-7766
 ※ 阪和営業所から和歌山店に変更になりました
 大阪店 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-8-13 フリーダイヤル 0120-88-2104

